

セックスをした経験があるMSM受検者は、郵送受検者群は30.4%で他群(14.0~15.4%)に比して高かった($p < 0.001$)。金銭を受け取ったセックス経験の割合には有意な差は見られなかった($p = 0.641$)。

性感染症既往歴は、25.5%~28.8%の範囲であった。

D. 考察

郵送検査、保健所等のHIV検査およびHIV検査を主体とする公的検査機関である南新宿検査・相談室、chotCASTなんばの受検者の特性について、全受検者とMSM受検者ごとに示した。受検者についてはMSM、MSM以外男性および女性を別にして検討する必要があるが、本研究で全受検者とMSMについて示した。

1) 全受検者について

全受検者についてみると、郵送検査ではMSM割合が7.4%と少なく、南新宿受検者群の1/3、chotCAST受検者群、保健所等受検者群のおよそ1/2の割合であった。その一方で、MSM以外の男性は4群ではほぼ同率で、女性は郵送受検者群で多い傾向にあった。受検者の社会属性としては、郵送検査受検者は、一人暮らしの割合と既婚者割合が他の検査機関受検者に比して高い傾向にあった。

また郵送検査受検者では、HIV検査を初めて受検する割合が他の検査機関に比べて多く、そのほとんどが自身で受けるのを決めていることが示唆された。過去6ヶ月の感染不安を有する割合は、すべての検査機関で30%台であったが、相談場所を知っている割合や家族や友人にHIV/性感染症について相談できる割合は郵送受検者群で低いことが示された。郵送検査においては対面支援が困難であることから、受検する前後、特に結果を知らせる場面での情報提供が重要となる。しかし、他の検査機関の受検者でも相談場所を知らない受検者は6割近くを占め、家族や友人に相談できない割合も2/3を占めており、いずれの検査機関においても、受検者のこうした状況を踏まえた支援の対応が望まれる。

受検者の95%以上が性経験を有し、過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験も2/3を越えていた。セックス時のコンドーム使用状況は、特定男性との場合

に比して特定以外男性とのセックス時では常用率が高かった。しかし特定女性の場合と特定以外の女性の場合とではそれほど大きな差異はなかった。コンドーム常用者の割合は郵送受検者群に低いことが示され、HIV/性感染症の感染リスクが高い傾向が示唆された。しかし、性感染症既往歴にはそれほど大きな差異は見られていない。

過去6ヶ月に金銭を払ってセックスをした経験を持つ受検者割合は、郵送受検者群が35.4%で、金銭をもらってセックスをした経験を持つ受検者割合も郵送受検者群が8.3%と他群より高かったことは、これらの行為により不安となり郵送検査で受検していることが考えられる。

2) MSM受検者について

郵送検査では、MSM受検者の割合が他の検査機関3群に比して低く10%にも及んでいなかった。しかし、本報告では示していないが、郵送検査でHIV陽性であったものはすべてが男性受検者であり、わが国のHIV/AIDS報告の多くをMSMが占めていることを考慮すると、HIV陽性の多くはMSMであるものと推察される。この点で、郵送検査はMSMにとっても早期検査の機会となっているものとする。

MSM受検者では、一人暮らしの割合は49%~62%で、既婚者割合は7%~15%と低かった。その中で郵送受検者群は、15.2%と他群に比較して高く、既婚者の利用がやや多い傾向にある。

MSM受検者においても、郵送検査は初受検者が他の検査機関より多く、また自発的に利用していることが示唆された。HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は、MSM受検者は全受検者に比して低く、特に郵送受検者群は12.2%と低い。一方で友人に相談できる、できると思うと回答した割合は全対象に比して高く、また家族への相談より高い。このことは、MSMは家族には相談しにくい、友人には相談しやすいことを示唆していると考えられる。

過去6ヶ月のコンドーム使用状況は、特定男性とのコンドーム常用割合、特定以外の男性とのコンドーム常用割合のいずれも保健所受検者群で低いことが

示された。MSMでは郵送検査受検者が必ずしも他の検査機関の受検者に比して感染リスク行動が高いとは言えなかった。しかし、過去6ヶ月に金銭を払ってセックスをした経験があるMSM受検者は郵送受検者群が30.4%と他群(14.0~15.4%)に比して高く、HIV検査を郵送検査で受ける背景要因の一つと考える。ただし、性感染症既往歴は25.5%~28.8%の範囲で、検査機関によって大差はなかった。

郵送検査は、個人で検査ができ、匿名性や簡易性、時間的制限がないなどのメリットがある。本研究からは、郵送検査受検者は一人暮らしの割合や既婚者割合、初めて受検する割合、金銭を払った性経験や金銭をもらった性経験の割合などが他の検査機関受検者に比べて高い傾向にあり、これらの受検者層が郵送検査を自発的に選んでいる傾向が伺えた。その一方で、相談場所の認知が低いことなどから他の検査機関と共に受検者への支援に関する情報提供などの対応が必要と思われる。

E. 結語

郵送検査受検者、保健所等受検者、およびHIV検査を主体とする公的検査機関の南新宿受検者、chotCAST受検者について、それぞれの検査機関の受検者の特性を、全受検者とMSM受検者について示した。

全受検者でみると、郵送検査のMSM割合は7.4%で、南新宿受検者群の1/3、chotCAST受検者群、保健所等受検者群のおよそ1/2の割合であった。その一方、MSM以外の男性はほぼ同率で、女性は郵送受検者群で多い傾向にあった。

社会属性としては、郵送検査受検者は、一人暮らしの割合と既婚者割合が他の検査機関受検者に比して高い傾向にあった。

郵送検査受検者では、HIV検査を初めて受検する割

合が他の検査機関に比べて多く、そのほとんどが自身で受検することを決めていた。

過去6ヶ月の感染不安を有する割合はすべての検査機関で30%台であったが、相談場所を知っている割合や家族や友人にHIV/性感染症について相談できる割合は郵送受検者群で低いことが示された。しかし、他の検査機関の受検者でも相談場所を知らない受検者は6割近くを占め、家族や友人に相談できない割合も2/3を占めている。いずれの検査機関においても、受検者の状況を踏まえた支援の対応が望まれる。

MSM受検者においても、郵送検査は初受検者が他の検査機関より多く、また自発的に利用していることが示された。HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は、MSM受検者は全受検者に比して低く、特に郵送受検者群は12.2%と低い一方で、友人に相談できる、できると思うと回答した割合は全受検者の場合より高かった。MSMは家族には相談しにくいのが、友人には相談しやすいことが示唆された。

参考資料

1. エイズ動向委員会(2014). エイズ予防情報ネット. <http://api-net.jfap.or.jp/status/>
2. 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、加藤真吾、今井光信.(2012). HIV郵送検査に関する実態調査と検査精度調査. 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業 平成24年度研究報告書.
3. 加藤真吾.(2013). 保健所等及び病院におけるHIV検査体制. 第6回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会資料. <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002y pg6-att/2r9852000002y pk7.pdf>

表1. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の8都府県居住地分布 -全受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者	
		n 1876		18996		3681		4011	
居住地	宮城	75	4.0%	1258	6.6%	0	.0%	0	.0%
	東京	690	36.8%	4657	24.5%	3222	87.5%	4	.1%
	神奈川	302	16.1%	3017	15.9%	238	6.5%	3	.1%
	千葉	185	9.9%	1454	7.7%	218	5.9%	1	.0%
	愛知	221	11.8%	2940	15.5%	0	.0%	0	.0%
	大阪	243	13.0%	4000	21.1%	3	.1%	4001	99.8%
	福岡	128	6.8%	1020	5.4%	0	.0%	1	.0%
	沖縄	32	1.7%	650	3.4%	0	.0%	1	.0%

表2. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の社会属性 -全受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
		n 1876		18996		3681		4011		
性別	MSM	138	7.4%	2324	12.2%	883	24.0%	613	15.3%	.000
	MSM以外男性	986	52.6%	10124	53.3%	1516	41.2%	2082	51.9%	
	女性	750	40.0%	6501	34.2%	1276	34.7%	1297	32.3%	
	不明	2	.1%	47	.2%	6	.2%	19	.5%	
年齢階級	24歳未満	248	13.2%	3502	18.4%	496	13.5%	662	16.5%	.000
	24-39歳	1218	64.9%	11259	59.3%	2360	64.1%	2584	64.4%	
	40歳以上	405	21.6%	4031	21.2%	800	21.7%	735	18.3%	
	無回答	5	.3%	204	1.1%	25	.7%	30	.7%	
一人暮らし	はい	852	45.4%	6720	35.4%	1870	50.8%	1654	41.2%	.000
	いいえ	1021	54.4%	12231	64.4%	1806	49.1%	2356	58.7%	
	無回答	3	.2%	45	.2%	5	.1%	1	.0%	
結婚	している	533	28.4%	5252	27.6%	714	19.4%	876	21.8%	.000
	していない	1342	71.5%	13696	72.1%	2961	80.4%	3129	78.0%	
	無回答	1	.1%	48	.3%	6	.2%	6	.1%	
保険	加入	1841	98.1%	18233	96.0%	3605	97.9%	3872	96.5%	.000
	未加入	26	1.4%	499	2.6%	54	1.5%	102	2.5%	
	無回答	9	.5%	264	1.4%	22	.6%	37	.9%	

表 3. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の検査受検行動や周囲との関わりおよび予防や治療に関する知識 -全受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
		n	1876	18996	3681	4011				
検査経験	あり	653	34.8%	7182	37.8%	1660	45.1%	1501	37.4%	.000
	なし	1223	65.2%	11750	61.9%	2017	54.8%	2500	62.3%	
	無回答	0	.0%	64	.3%	4	.1%	10	.2%	
定期的に検査している (検査経験者中)	はい	114	17.5%	1752	24.4%	447	26.9%	390	26.0%	.000
	いいえ	528	80.9%	5213	72.6%	1187	71.5%	1088	72.5%	
	無回答	11	1.7%	217	3.0%	26	1.6%	23	1.5%	
受検の契機	自分で決めた	1730	92.2%	16373	86.2%	3178	86.3%	3311	82.5%	.000
	人から勧められた	143	7.6%	2588	13.6%	495	13.4%	694	17.3%	
	無回答	3	.2%	35	.2%	8	.2%	8	.1%	
過去6ヶ月の感染不安	よくあった・時々あった	644	34.3%	6349	33.4%	1328	36.1%	1399	34.9%	.006
	あまりなかった・全くなかった	1229	65.5%	12548	66.1%	2339	63.5%	2599	64.8%	
	無回答	3	.2%	99	.5%	14	.4%	13	.3%	
周囲のHIV感染者の存在認識 (友人・知人)	いる・いると思う	173	9.2%	2593	13.7%	754	20.5%	613	15.3%	.000
	いないと思う・いない	1355	72.2%	12179	64.1%	2136	58.0%	2556	63.7%	
	わからない	345	18.4%	4115	21.7%	780	21.2%	822	20.5%	
	無回答	3	.2%	109	.6%	11	.3%	20	.5%	
		n	1453	14095	2699	3109				
相談場所* (電話相談等)	知っている	531	36.5%	6222	44.1%	1496	55.4%	1339	43.1%	.000
	知らない	913	62.8%	7826	55.5%	1194	44.2%	1764	56.7%	
	無回答	9	.6%	47	.3%	9	.3%	6	.2%	
HIV・性感染症で困った時・不安な時										
-家族への相談*	できる・できると思う	340	23.4%	5119	36.3%	841	31.2%	1038	33.4%	.000
	できないと思う・できない	923	63.5%	6794	48.2%	1465	54.3%	1562	50.2%	
	わからない	190	13.1%	2143	15.2%	384	14.2%	509	16.4%	
	無回答	0	.0%	39	.3%	9	.3%	0	.0%	
-友達への相談*	できる・できると思う	342	23.5%	5388	38.2%	1035	38.3%	1162	37.4%	.000
	できないと思う・できない	940	64.7%	6805	48.3%	1371	50.8%	1538	49.5%	
	わからない	171	11.8%	1867	13.2%	286	10.6%	404	13.0%	
	無回答	0	.0%	35	.2%	7	.3%	5	.2%	
病院受診* (仮に感染していたら)	できる・できると思う	1370	94.3%	13524	95.9%	2617	97.0%	2946	94.8%	.000
	できないと思う・できない	83	5.7%	484	3.4%	74	2.7%	147	4.7%	
	無回答	0	.0%	87	.6%	8	.3%	16	.5%	
HIV予防・治療関連知識*										
全問正解(5問)	全問正解(5問)	527	36.3%	4332	30.7%	787	29.2%	1124	36.2%	.000
	一部・全問不正解/無回答	926	63.7%	9763	69.3%	1912	70.8%	1985	63.8%	

*追加された質問項目であり、2013年1月から9月のデータを使用したため、対象者数が異なる。

表4. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の性行為 -全受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
		n								
生涯のセックス経験	ある	1876	99.1%	18573	97.8%	3642	98.9%	3943	98.3%	.000
	ない	11	0.6%	203	1.1%	18	0.5%	37	0.9%	
	無回答	5	0.3%	220	1.2%	21	0.6%	31	0.8%	
生涯のセックス経験あり		n 1860		18573		3642		3943		
過去6ヶ月のお金を払ったセックス経験	ある	1860	35.4%	5130	27.6%	879	24.1%	1197	30.4%	.000
	ない	1197	64.4%	13309	71.7%	2745	75.4%	2725	69.1%	
	無回答	5	.3%	134	.7%	18	.5%	21	.5%	
過去6ヶ月のお金をもらったセックス経験	ある	1860	8.3%	837	4.5%	146	4.0%	195	4.9%	.000
	ない	1694	91.1%	17545	94.5%	3472	95.3%	3712	94.1%	
	無回答	11	.6%	191	1.0%	24	.7%	36	.9%	
過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験	ある	1860	69.7%	11686	62.9%	2448	67.2%	2473	62.7%	.000
	ない	559	30.1%	6719	36.2%	1176	32.3%	1443	36.6%	
	無回答	5	.3%	168	.9%	18	.5%	27	.7%	
過去6ヶ月の特定男性との膣・アナルセックス経験あり		n 582		5414		1336		1183		
コンドーム使用	常用	582	18.6%	1231	22.7%	368	27.5%	306	25.9%	.000
	非常用	474	81.4%	4183	77.3%	968	72.5%	877	74.1%	
過去6ヶ月の特定男性以外との膣・アナルセックス経験あり		n 388		3471		1000		789		
コンドーム使用	常用	388	28.4%	1001	28.8%	354	35.4%	278	35.2%	.000
	非常用	278	71.6%	2470	71.2%	646	64.6%	511	64.8%	
過去6ヶ月の特定女性との膣・アナルセックス経験あり		n 570		5226		821		1091		
コンドーム使用	常用	570	32.5%	1725	33.0%	303	36.9%	363	33.3%	.162
	非常用	385	67.5%	3501	67.0%	518	63.1%	728	66.7%	
過去6ヶ月の特定女性以外との膣・アナルセックス経験あり		n 569		4596		773		979		
コンドーム使用	常用	569	40.2%	1799	39.1%	338	43.7%	392	40.0%	.119
	非常用	340	59.8%	2797	60.9%	435	56.3%	587	60.0%	
性感染症既往歴*	ある	1450	25.6%	3165	22.7%	636	23.7%	716	23.2%	.000
	ない	1065	73.4%	10403	74.6%	2008	74.7%	2320	75.2%	
	無回答	14	.7%	375	2.7%	43	1.6%	50	1.6%	

*追加された質問項目であり、2013年1月から9月のデータを使用したため、対象者数が異なる。

表5. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の社会属性 -MSM受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
n		138		2324		883		613		
年齢階級	24歳未満	21	15.2%	432	18.6%	95	10.8%	100	16.3%	.000
	24-39歳	78	56.5%	1353	58.2%	525	59.5%	377	61.5%	
	40歳以上	39	28.3%	522	22.5%	255	28.9%	133	21.7%	
	無回答	0	.0%	17	.7%	8	.9%	3	.5%	
一人暮らし	はい	77	55.8%	1134	48.8%	545	61.7%	308	50.2%	.000
	いいえ	61	44.2%	1188	51.1%	336	38.1%	305	49.8%	
	無回答	0	.0%	2	.1%	2	.2%	0	.0%	
結婚	している	21	15.2%	212	9.1%	65	7.4%	59	9.6%	.039
	していない	117	84.8%	2107	90.7%	818	92.6%	554	90.4%	
	無回答	0	.0%	5	.2%	0	.0%	0	.0%	
保険	加入	136	98.6%	2204	94.8%	858	97.2%	589	96.1%	.010
	未加入	1	.7%	92	4.0%	21	2.4%	23	3.8%	
	無回答	1	.7%	28	1.2%	4	.5%	1	.2%	

表6. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の検査受検行動や周囲との関わりおよび予防や治療に関する知識 -MSM受検者-

		郵送 受検者		保健所等 受検者		南新宿 受検者		chotCAST 受検者		p値
		n	138	2324	883	613				
検査経験	あり	80	58.0%	1499	64.5%	616	69.8%	402	65.6%	.045
	なし	58	42.0%	822	35.4%	267	30.2%	210	34.3%	
	無回答	0	.0%	3	.1%	0	.0%	1	.2%	
定期的に検査している	はい	18	22.5%	547	36.5%	233	37.8%	152	37.8%	.051
	いいえ	61	76.3%	911	60.8%	374	60.7%	244	60.7%	
	無回答	1	1.3%	41	2.7%	9	1.5%	6	1.5%	
受検の契機	自分で決めた	133	96.4%	2067	88.9%	799	90.5%	525	85.6%	.008
	人から勧められた	5	3.6%	256	11.0%	84	9.5%	88	14.4%	
	無回答	0	.0%	1	.0%	0	.0%	0	.0%	
過去6ヶ月の感染不安	よくあった・時々あった	71	51.4%	997	42.9%	389	44.1%	286	46.7%	.239
	あまりなかった・全くなかった	67	48.6%	1322	56.9%	490	55.5%	326	53.2%	
	無回答	0	.0%	5	.2%	4	.5%	1	.2%	
周囲のHIV感染者の存在認識 (友人・知人)	いる・いると思う	39	28.3%	903	38.9%	417	47.2%	277	45.2%	.000
	いないと思う・いない	79	57.2%	1057	45.5%	329	37.3%	244	39.8%	
	わからない	20	14.5%	360	15.5%	134	15.2%	91	14.8%	
	無回答	0	.0%	4	.2%	3	.3%	1	.2%	
相談場所* (電話相談等)	知っている	52	53.1%	1021	57.6%	412	61.8%	275	56.7%	.247
	知らない	46	46.9%	747	42.2%	252	37.8%	207	42.7%	
	無回答	0	.0%	4	.2%	3	.4%	3	.6%	
HIV・性感染症で困った時・不安な時 -家族への相談*	できる・できると思う	12	12.2%	395	22.3%	129	19.3%	92	19.0%	.028
	できないと思う・できない	82	83.7%	1174	66.3%	461	69.1%	329	67.8%	
	わからない	4	4.1%	199	11.2%	76	11.4%	64	13.2%	
	無回答	0	.0%	4	.2%	1	.1%	0	.0%	
-友達への相談*	できる・できると思う	29	29.6%	880	49.7%	338	50.7%	239	49.3%	.001
	できないと思う・できない	65	66.3%	728	41.1%	269	40.3%	205	42.3%	
	わからない	4	4.1%	162	9.1%	60	9.0%	40	8.2%	
	無回答	0	.0%	2	.1%	0	.0%	1	.2%	
病院受診* (仮に感染していたら)	できる・できると思う	92	93.9%	1683	95.0%	644	96.6%	465	95.9%	.450
	できないと思う・できない	6	6.1%	82	4.6%	21	3.1%	20	4.1%	
	無回答	0	.0%	7	.4%	2	.3%	0	.0%	
HIV予防・治療関連知識*	全問正解(5問)	48	49.0%	709	40.0%	246	36.9%	225	46.4%	.003
	一部・全問不正解/無回答	50	51.0%	1063	60.0%	421	63.1%	260	53.6%	

*追加された質問項目であり、2013年1月から9月のデータを使用したため、対象者数が異なる。

表7. 郵送と保健所および公的機関のHIV検査受検者の性行為 -MSM受検者-

		郵送		保健所等		南新宿		chotCAST		p値
		受検者	受検者	受検者	受検者	受検者	受検者	受検者		
		n								
生涯のセックス経験	ある	138	100.0%	2324	100.0%	883	100.0%	613	100.0%	.000
	ない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
過去6ヶ月のお金を払ったセックス経験	ある	42	30.4%	357	15.4%	124	14.0%	89	14.5%	.000
	ない	96	69.6%	1960	84.3%	756	85.6%	523	85.3%	
	無回答	0	.0%	7	.3%	3	.3%	1	.2%	
過去6ヶ月のお金をもらったセックス経験	ある	4	2.9%	126	5.4%	37	4.2%	32	5.2%	.641
	ない	134	97.1%	2191	94.3%	843	95.5%	580	94.6%	
	無回答	0	.0%	7	.3%	3	.3%	1	.2%	
過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験	ある	110	79.7%	1883	81.0%	712	80.6%	488	79.6%	.979
	ない	28	20.3%	436	18.8%	169	19.1%	124	20.2%	
	無回答	0	.0%	5	.2%	2	.2%	1	.2%	
過去6ヶ月の特定男性との膣・アナルセックス経験あり		n	80		1505		536		409	
コンドーム使用	常用	29	36.3%	438	29.1%	194	36.2%	139	34.0%	.010
	非常用	51	63.8%	1067	70.9%	342	63.8%	270	66.0%	
過去6ヶ月の特定男性以外との膣・アナルセックス経験あり		n	79		1473		599		367	
コンドーム使用	常用	32	40.5%	540	36.7%	258	43.1%	158	43.1%	.018
	非常用	47	59.5%	933	63.3%	341	56.9%	209	56.9%	
過去6ヶ月の特定女性との膣・アナルセックス経験あり		n	44		503		115		117	
コンドーム使用	常用	13	29.5%	190	37.8%	61	53.0%	51	43.6%	.008
	非常用	31	70.5%	313	62.2%	54	47.0%	66	56.4%	
過去6ヶ月の特定女性以外との膣・アナルセックス経験あり		n	44		432		105		98	
コンドーム使用	常用	16	36.4%	169	39.1%	54	51.4%	45	45.9%	.090
	非常用	28	63.6%	263	60.9%	51	48.6%	53	54.1%	
性感染症既往歴 ³		n	98		1772		667		485	
ある		25	25.5%	461	26.0%	192	28.8%	124	25.6%	.000
ない		73	74.5%	1234	69.6%	470	70.5%	358	73.8%	
無回答		0	.0%	77	4.3%	5	.7%	3	.6%	

*追加された質問項目であり、2013年1月から9月のデータを使用したため、対象者数が異なる。

中国・四国地方在住のゲイ・バイセクシュアル男性の予防行動と HaaT えひめの介入活動の効果評価に関する研究

研究協力者:新山賢、田中将之、西之谷幹、岡崎好晃、相中勇貴(HaaT えひめ)、大山治彦(四国学院大学社会福祉学部、HaaT えひめ)、塩野徳史、市川誠一(名古屋市立大学看護学部)

研究要旨

2013 年度 HaaT えひめは、中国・四国地方での HIV 感染拡大を背景に、中国・四国地方にも活動を拡大し、情報誌「ゲイコミュニティペーパー ファイト!」の対象とした。当情報誌の中国地方版と四国地方版の制作・配布にあたり、これまで構築してきた愛媛県以外の中国・四国地方のゲイコミュニティの商業施設との関係性が基盤となっていた。また対象地域の拡大にあたっては、これまでの HaaT えひめの愛媛県内での HIV 活動の経験を生かし、愛媛県以外の四国 4 県の全ての保健所設置自治体エイズ対策担当者との関係構築を進めた。

中国・四国地方に在住するゲイ・バイセクシュアル男性において、HIV 抗体検査生涯受検割合は 24 歳以下で他の年齢層に比べ低かった。一方で 2012 年度、2013 年度の調査では愛媛県中予居住者に比べ東予居住者での生涯受検割合、過去 1 年間受検割合が高かった。2011 年度の同様の調査では中予居住者に比べ東予居住者では受検割合が低く、周囲の HIV 感染者に関する意識についても東予居住者では「いる・いると思う」割合が 20.7% (2011 年)であったが、2012 年は 31.3%、2013 年は 45.5%と上昇していた。HaaT えひめは東予地域で Living Together イベントを開催しており、周囲の HIV 感染者に関する意識が変容したことで受検行動の促進につながった可能性があり、HaaT えひめの活動の効果と考えられる。

A. 研究目的

中国・四国地方で介入活動している HaaT えひめと協同し横断的な質問紙調査を実施し、中国・四国地方在住のゲイ・バイセクシュアル男性および MSM における HIV を含む性感染症に関連した状況や検査行動等の予防行動を年齢層別に把握することを目的とした。

B. 研究方法

当事者を中心とした NGO 団体 HaaT えひめと協働し、インターネットを用いた質問紙調査—GCQ アンケート— (以下、GCQ アンケート) を実施した。本調査は全国で同一の方法を用いて行われており、配布地域を明らかにするため各地域で固有の QR コードを設定してい

る。質問の内容は基本属性、検査行動、性行動、性感染症既往歴、HIV に関する対話経験、周囲の感染者の有無、予防介入プログラムへの接触状況などとした。中国・四国地方では 2012 年 3 月 23 日から 2013 年 5 月 24 日までの約 3 ヶ月間、2013 年 4 月 8 日から 2013 年 7 月 15 日までの約 3 ヶ月間とした。

2012 年度は実施期間中に HaaT えひめの配布した QR コードによって 538 人の回答を得た。そのうち重複回答を除く、中国・四国地方在住のゲイ・バイセクシュアル男性および MSM は 364 人であった (有効回答率 67.7%)。また他地域の QR コードから回答した中国・四国地方在住のゲイ・バイセクシュアル男性および MSM が 80 人おり、合わせて 444 人を分析対

象とした。

2013年度は実施期間中に HaaT えひめの配布したQRコードによって814人の回答を得た。そのうち重複回答を除く、中国・四国地方在住のゲイ・バイセクシュアル男性および MSM は 411 人であった（有効回答率 50.5%）。また他地域の QR コードから回答した中国・四国地方在住のゲイ・バイセクシュアル男性および MSM が 91 人おり、合わせて 502 人を分析対象とした。

分析対象となった 444 人(2012 年度)、502 人(2013 年度)について、年齢層を 24 歳以下、25-29 歳、30-34 歳、35-39 歳、40 歳以上の 5 カテゴリーに分類し、質問項目を年齢カテゴリー別に分析した。

2012 年度の 24 歳以下は 102 人(23.0%)、25-29 歳は 92 人(20.7%)、30-34 歳 73 人(16.4%)、35-39 歳は 77 人(17.3%)、40 歳以上は 100 人(22.5%)であった。2013 年度の 24 歳以下は 103 人(20.5%)、25-29 歳は 104 人(20.7%)、30-34 歳 94 人(18.7%)、35-39 歳は 103 人(20.5%)、40 歳以上は 98 人(19.5%)であった。

また HaaT えひめの活動の認知状況を把握することを目的として、愛媛県の居住者を対象に居住地域(中予、東予、その他の地域)別に検査行動および予防行動などを比較検討した。

データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 19 を用いた。なお、本研究実施計画については名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た (ID 番号 11027-2)。なお、調査の概要について各地域の概要と合わせて以下に示した。

C. 研究結果

1. HaaT えひめの活動の概要

1) 予防啓発の実施と対象地域の拡大

① コミュニティペーパー発行と対象地域の拡大

HaaT えひめは 2007 年から、HIV 予防啓発関連情報誌「ゲイコミュニティペーパー ファイト！」を年 4 回発行し、オリジナルデザインのコンドームとともにゲイコミュニティへの配布を行っている。今年度は、これまでの愛媛県を対象とした「ゲイコミュニティペーパー ファイト！愛媛版」(以下、「ファイト！愛媛版」)に加えて、中国地方を対象とした「ゲイコミュニティペーパー ファイト！中国地方版」(以下、「ファイト！中国地方版」)と四国地方を対象とした「ゲイコミュニティペーパー ファイト！四国地方版」(以下、「ファイト！四国地方版」)の発行を行った。誌面構成は以下の通りである。

- ・特集：HIV 抗体検査や HIV/エイズの基礎知識に関連した情報など
- ・地域の保健所データ：愛媛県・中国・四国地方の保健所が実施する HIV 抗体検査についての情報
- ・TOPICS!：HaaT えひめの活動報告やゲイコミュニティの関連情報など
- ・RING：地域で HIV の医療・支援・予防啓発などの活動に関わる様々な人びとの活動紹介
- ・コンドレンジャー：コンドーム使用をキーワードにセーフセックスや予防方法を伝える 4 コマ漫画
- ・その他：ゲイコミュニティ関連情報

裏面では、ゲイコミュニティの商業施設 MAP と店舗 INDEX を掲載している。

この「ゲイコミュニティペーパー ファイト！」は中国・四国地方にあるゲイコミュニティの商業施設約 60 店舗に、15~30 部ずつ配布した。また中国・四国地方の保健所設置自治体のエイズ対策担当者や関連 NPO や HIV 情報コミュニティセンターなど約 45 ヶ所へも郵送を行っている。

② 中国・四国地方在住の HIV 陽性者手記集

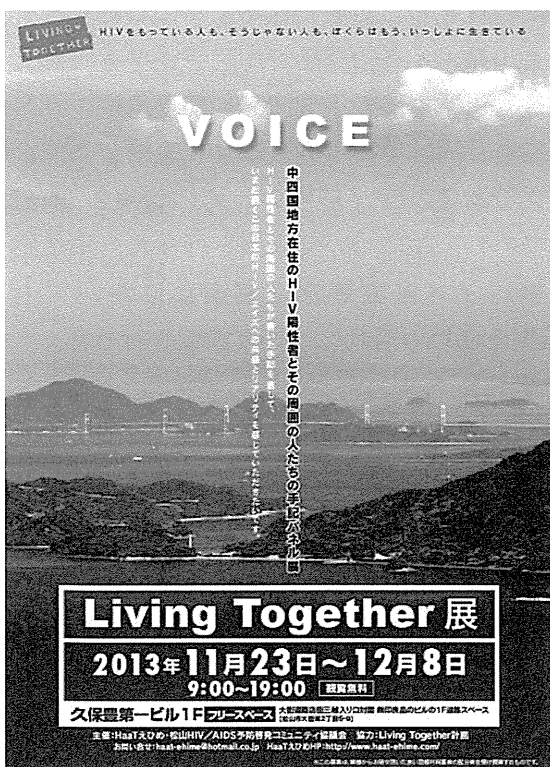
HIV/エイズの問題は大都市だけの問題ではなく地方でも確かに広がっている。中国・四

国地方ではゲイコミュニティの存在が見えにくく、小さな街の小さなコミュニティであるゆえに、HIV 陽性者が自身の感染を誰かに打ち明けることは、大都市よりもさらに困難がある。それゆえに MSM は HIV に対する身近さやリアリティを感じにくく、HIV 検査や予防行動につながりにくいことが考えられる。

HaaT えひめでは Living Together 計画と連携し、2010 年から HIV への共感とリアリティを届ける、HIV 陽性者とその周囲の人たちの手記朗読と音楽のイベント「Living Together Café in Ehime」を開催してきた。

これまでは Living Together 計画などが制作した手記集から朗読を届けてきたが、より身近なリアリティとするために、今年度は中国・四国地方に住む HIV 陽性者に協力を得て、「Living Together -VOICE- 中四国地方在住の HIV 陽性者とその周囲の人たちの手記集」を制作した。

資料1 Living Together -Voice-
パネル展フライヤー



この手記集から HaaT えひめの世界エイズデー企画「Living Together -VOICE- 中四国地方在住の HIV 陽性者とその周囲の人たちの手記パネル展」として、愛媛県松山市の大道商店街内の民間の展示スペースでパネル展を行った。なお、このパネル展は愛媛県共同募金会（赤い羽根共同募金えひめ）の平成 25 年度赤い羽根共同募金ボランティア NPO 活動支援事業助成の配分金を受けて実施された。（資料 1）

③ アウトリーチ（予防啓発資材の配布）

平均月 1 回程度、愛媛県松山市内のゲイコミュニティへのアウトリーチを行っている。HaaT えひめのスタッフが 2～3 名でゲイコミュニティの商業施設に協力を得て設置したウォールポケットに「ファイト！愛媛版」とオリジナル Condom や予防啓発冊子の補充を行っている。

「ファイト！愛媛版」は、これまでも愛媛県以外の中国・四国地方のゲイコミュニティの商業施設に郵送を行ってきた。今回新たに地域を拡大した「ファイト！中国地方版」と「ファイト！四国地方版」を制作・配布するにあたり、HaaT えひめが構築してきた中国・四国地方のゲイコミュニティの商業施設との関係性が基盤となり、それぞれの地域の商業施設で配布することがスムーズに実施できた。今後も継続して啓発資材を設置・配布していただくためにも、これまで以上にゲイコミュニティの商業施設との信頼関係の構築と維持・強化が重要である。

④ MSM 若年層向け介入プログラム

i) 10 代（13～19 歳）のゲイ・バイセクシュアル男性を参加対象としたイベント「+TALK10（プラストークテン）」を 2010 年 9 月から毎月 1 回開催している。10 代のゲイ・バイセクシュアル男性は、自身の性的指向に悩み孤立している状況であり、HIV 感染の情報等が届

きにくいことが言われている。そこで本プログラムでは、彼らに安心して集える「居場所」を提供し、エンパワメントと HIV 予防に関する情報提供が行える機会を作っている。

ii) 10代ゲイ・バイセクシュアル男性のインターネット環境整備として10代同性愛者向け支援情報サイト「10スタート(テンスタート)」の運営を行っている。10代 MSM をインターネットからリアルに繋げ、エンパワーと HIV 予防啓発の介入の機会を作るためのインターネット上のツールとして捉えている。このWEBサイトは神奈川県で活動するNPO法人SHIPなどと共同運営している。今後は各地域の HIV 情報コミュニティセンターを運営する各ゲイ NGO とも連携していきたいと考えている。(資料2)

資料2 10代同性愛者向け支援情報サイト

10スタート : <http://www.10-start.com/>



2) 四国4県の保健所設置自治体のエイズ対策担当者との懇談

これまでの HaaT えひめによる愛媛県内での HIV 活動の経験を生かし、HIV 対策の県域を越えた広域対応を模索するために、今年度は愛媛県以外の四国3県の全ての保健所設置自治体(徳島県・香川県・高松市・高知県・高知市)のエイズ対策担当者と主に MSM のエ

イズ対策について懇談を行ってきた。

- ・徳島県(4月5日、6月14日)
- ・香川県・高松市(4月26日)
- ・岡山県(10月30日)
- ・高知県・高知市(12月18日)

懇談をおこなった自治体担当者からは一様に、それぞれの地域にあるゲイコミュニティへのアプローチへの困難さや地域内の MSM の疫学情報の乏しさうかがえた。今後は定期的な懇談の機会を設け情報共有とエイズ対策とともに検討していくことが重要だと考える。

3) 研修会・講師派遣: HIV 検査担当者向け研修会

中国・四国地方の HIV 検査を担当する行政担当者を対象に、MSM が受検しやすい HIV 検査体制の構築を目的に研修会を開催した。HaaT えひめではセクシュアリティ理解のための講演を行うとともに、検査相談の場における性の多様性を踏まえた対応を模擬対応を通して参加者と検討した。参加者は12名であった。研修会のプログラム内容は資料3-1,2を参照。またこの研修会を映像として記録し、今後の研修教材として活用できるようにした。

香川県エイズ治療拠点病院等従事者研修会では香川県主催の平成25年度香川県エイズ治療拠点病院等従事者研修会・連絡会にて、セクシュアリティ理解のための講演と HaaT えひめの活動について講演を行った。また岡山県エイズ医療等推進協議会においても HaaT えひめの活動について講演を行った。

4) 行政との連携と協働

①愛媛県との協働

HaaT えひめのウェブサイトや「ファイト! 愛媛版」などでの愛媛県管轄保健所での HIV 抗体検査情報などの広報を行った。

②松山市との協働

HaaT えひめのウェブサイトや「ファイト! 愛媛版」などで松山市管轄保健所での HIV 抗

体检査情報などの広報を行った。また今年度は松山市保健所が実施した「松山市保健所ゲイ・バイ男性限定 HIV 検査会」のゲイコミュニティ向けの広報業務を担当した。この広報資料として A4 サイズのポスターや愛媛県を対象としたゲイ情報サイトで掲載する告知バナーなどを制作した。(資料 4)

資料 4 ゲイ・バイ男性限定 HIV 検査会



2. GCQ アンケート 年齢層別分析

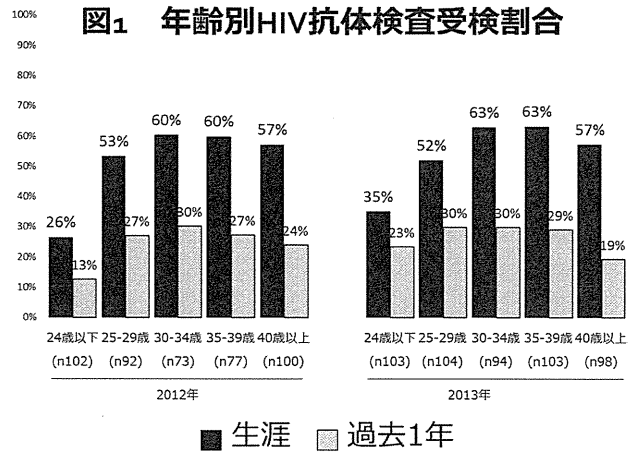
1) 基本属性

回答者の居住地について、2012 年度は愛媛県が最も多く 58.6%、次いで広島県 15.8%、岡山県 7.2%、香川県 7.2%であった。2013 年度は岡山県 24.1%、愛媛県 21.5%、高知県 12.5%、広島県 12.2%、香川県 7.6%であった。

2) HIV 抗体検査受検行動

HIV 抗体検査受検経験については生涯受検経験で両年度ともに年齢層との関連がみられた。2012 年度では 30-34 歳が最も高く 60.3%であり、24 歳以下が最も低く 26.5%であった(表 2)。2013 年度も同様に 35-39 歳が最も高く 63.1%次いで 30-34 歳が 62.8%であり、24 歳以下が最も低く 35.0%であった(表 8)。(図 1)

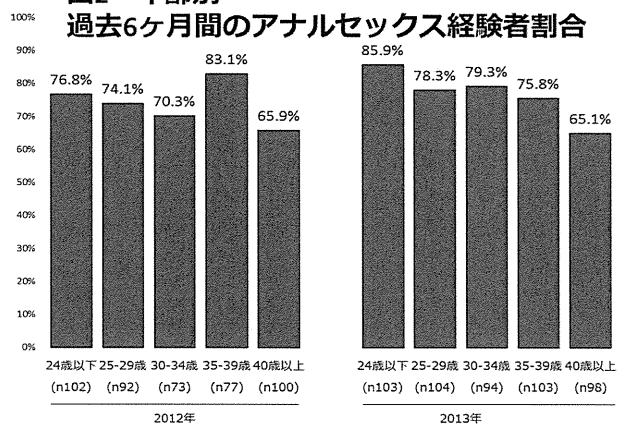
図1 年齢別 HIV 抗体検査受検割合



3) 性行動

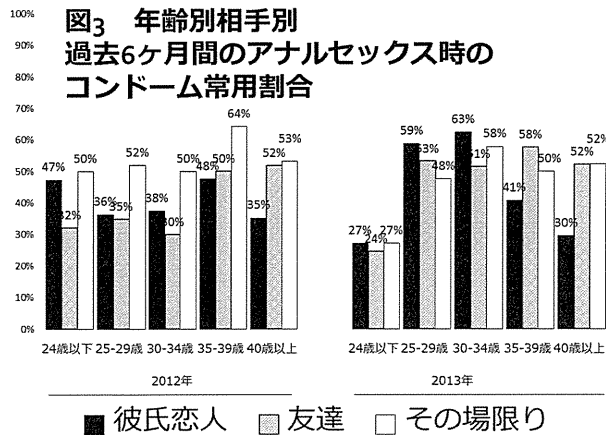
生涯の男性とのアナルセックス経験割合は年齢との関連がみられ両年度とも 24 歳以下で最も低く 2012 年度 67.6%、2013 年度 82.5%であった(表 3, 9)。一方で過去 6 ヶ月間のアナルセックス経験割合では、2012 年度は 35-39 歳が最も高く 83.1%、40 歳以上が最も低く 65.9%であった($p=0.15$) (表 4)。2013 年度は 24 歳以下が最も高く 85.9%、40 歳以上が最も低く 65.1%であった($p=0.03$) (表 10)。(図 2)

図2 年齢別 過去6ヶ月間のアナルセックス経験者割合



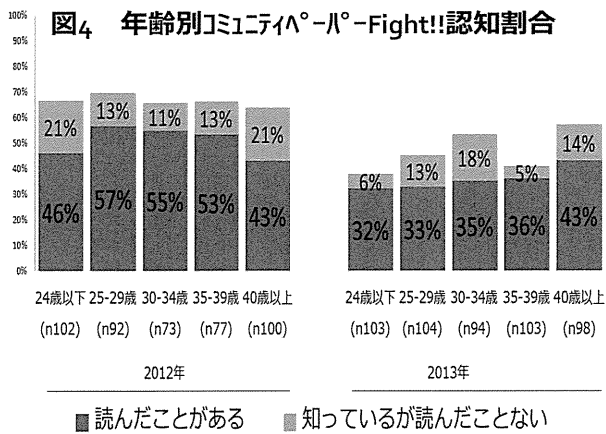
過去 6 ヶ月間のコンドーム常用割合について相手別にみたところ、相手が彼氏や恋人のときは 41.1% (2012 年度) 43.4% (2013 年度)、友達の場合は 40.5% (2012 年度) 45.9% (2013 年度)、その場限りの相手のときは 54.5% (2012 年度)、46.8% (2013 年度)であった。2013 年度の彼氏恋人が相手のとき、および友

達が相手のときに有意差がみられた。(図3)(表5, 10)



4) 活動の認知

HaaT えひめが愛媛県を中心に配布しているコミュニティペーパーの認知割合は、2012年度で読んだことがあると回答した人の割合は50.2%であり、知っているのみと回答した人の割合は16.2%であった(表6)。2013年度は読んだことがあると回答した人の割合は35.7%であり、知っているのみと回答した人の割合は11.0%であった(表11)。(図4)



また、HaaT えひめが配布しているコンドームの認知割合は、2012年度で過去1年間に持ち帰ったことがあると回答した人の割合は37.2%であり、1年以上前に持ち帰ったと回答した人の割合は9.5%、知っているのみと回答した人の割合は16.7%であった(表16)。2013年度で過去1年間に持ち帰ったことがあると回答した人の割合は24.9%であり、1年以上前に持ち帰ったと回答した人の割合は

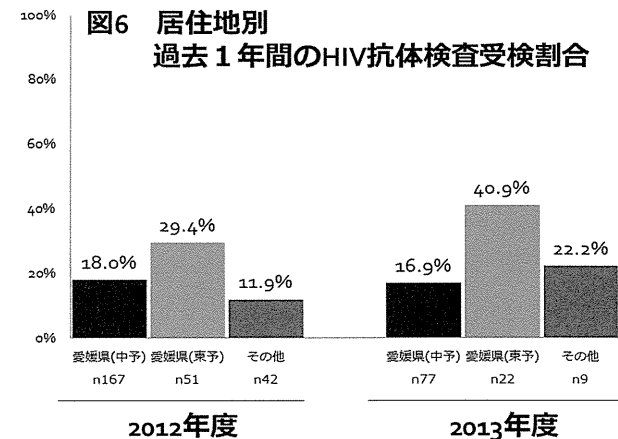
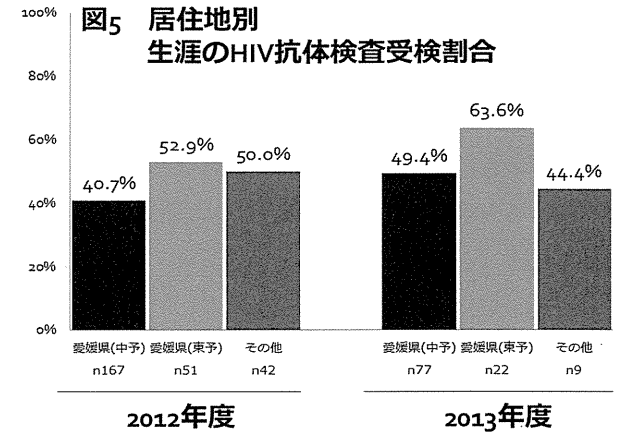
8.0%、知っているのみと回答した人の割合は9.2%であった(表11)。

愛媛県居住者における居住地別分析

2012年度と2013年度の有効回答者について愛媛県の居住者を対象に居住地(中予、東予、その他の地域)別に検査行動および予防行動などを比較検討した。(表12)

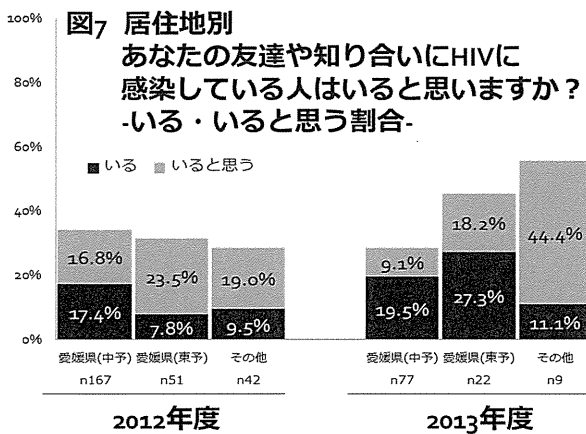
1) HIV抗体検査受検行動

生涯のHIV抗体検査受検割合は2012年度では中予在住者40.7%、東予在住者52.9%、その他の地域在住者50.0%であった(p=0.23)。2013年度では中予在住者49.4%、東予在住者63.6%、その他の地域在住者44.4%であった(p=0.45)。過去1年間のHIV抗体検査受検割合は2012年度では中予在住者18.0%、東予在住者29.4%、その他の地域在住者11.9%であった(p=0.08)。2013年度では中予在住者16.9%、東予在住者40.9%、その他の地域在住者22.2%であった(p=0.06)。(図5, 6)



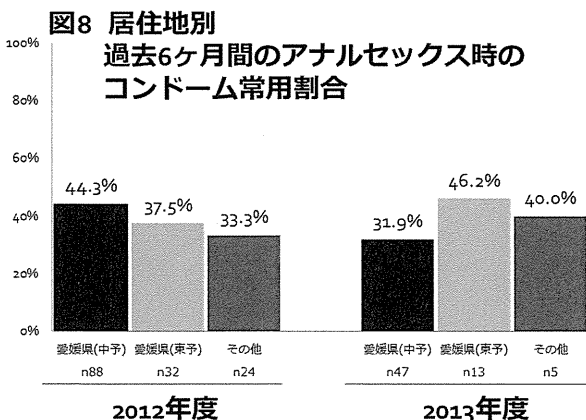
2) 周囲の HIV 感染者に関する意識

「あなたの友達や知り合いに HIV に感染している人はいると思いますか?」と尋ねたところ、「いる・いると思う」と回答した割合は、2012 年度で中予在住者 34.2%、東予在住者 31.3%、その他の地域在住者 28.5%であった (p=0.18)。2013 年度では中予在住者 28.6%、東予在住者 45.5%、その他の地域在住者 55.5%であった (p=0.14)。(図 7)



3) コンドーム使用行動

過去 6 ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム常用割合は 2012 年度では中予在住者 44.3%、東予在住者 37.5%、その他の地域在住者 33.3%であった (p=0.56)。2013 年度では中予在住者 31.9%、東予在住者 46.2%、その他の地域在住者 40.0%であった (p=0.62)。(図 8)



D. 考察および結語

今年度 HaaT えひめは、中国・四国地方に情

報誌の対象を拡大した。これは前年度までの研究等によって中国・四国地方に HIV 感染報告が拡大していることが示唆されていたことによる。これまでも HaaT えひめは「ファイト! 愛媛版」を愛媛県以外の中国・四国地方のゲイコミュニティの商業施設に郵送を行ってきた。今回新たに地域を拡大した「ファイト! 中国地方版」と「ファイト! 四国地方版」を制作・配布するにあたり、商業施設との関係調整が問題なく行えた背景には、HaaT えひめが構築してきた他地域の中国・四国地方のゲイコミュニティの商業施設との関係性が基盤となっていたことが考えられる。また対象地域を拡大するにあたっては、その地域の情報を掲載するなど工夫をしたことでこれまで以上に HaaT えひめと交流の薄かった中国・四国地方のゲイコミュニティの商業施設との関係性を強めることにつながったと思われる。

今後も継続して啓発資材を設置・配布していただくためにも、これまで以上にゲイコミュニティの商業施設との信頼関係の構築と維持・強化が重要である。

また対象地域拡大にあたっては、これまでの HaaT えひめの愛媛県内での HIV 活動の経験を生かし、HIV 対策の県域を越えた広域対応を模索することも視野にいれ、愛媛県以外の四国 4 県の全ての保健所設置自治体 (徳島県・香川県・高松市・高知県・高知市) のエイズ対策担当者と主に MSM のエイズ対策について懇談も行い、研修などを通じて関係構築を進めた。

本報告では活動の基礎資料とするために中国・四国地方に在住するゲイ・バイセクシュアル男性について年齢別の状況を明らかにした。HIV 抗体検査行動については生涯の受検割合が 24 歳以下の若年層で低い傾向であった。コンドーム使用行動では母集団となった回答者数が少ないため解釈は慎重にする必要があるが、若年層での常用割合は低い傾向であった。そのため若年層における予防行動や

検査行動の促進を進める必要がある。

愛媛県居住者を対象とした分析では統計的な有意差はみられなかったが、中予居住者に比べ東予居住者での生涯受検割合、過去1年間受検割合が高くなっていた。2011年度の同様の調査では中予居住者に比べ東予居住者では受検割合は低く、周囲のHIV感染者に関する意識についても東予居住者では「いる・いると思う」割合が20.7%(2011年)から31.3%(2012年)、45.5%(2013年)と上昇している。2012年度にはHaaT えひめが東予地域で

Living Together のイベントを開催しており、周囲のHIV感染者に関する意識が変容したことで受検行動の促進につながった可能性があり、HaaT えひめの活動の効果と考えられる。

今後活動を継続していくことによって、同様の効果が中国地方等に居住するMSMの間でも期待できる。

E. 発表論文等

なし

[資料 3-1 : HIV 検査担当者向け研修会案内]

HIV 検査担当者向け研修会

現在、HIV 感染経路の第一位は男性同性間の性的接触であり、HIV 検査の現場では、男性と性的接触を持つ男性（MSM）への対応が必要とされています。

HIV 検査の受検者への適切な対応・支援の根底となる、MSM やセクシュアリティへの理解を深めるため下記の通り研修を開催します。

1. 日時 平成 25 年 5 月 28 日(火) 13:20～17:00 ※13:00 受付開始

2. 会場 松山市総合コミュニティセンターコミュニティプラザ 2 階 第 1・2 会議室

(<http://www.cul-spo.or.jp/comcen/>)

松山市湊町 7 丁目 5 番地 (TEL:089-921-8222)

3. 内容

	プログラム	講師
13:00	受付	
13:20	開会・参加者挨拶	HaaT えひめ 新山 賢
13:30	HIV/AIDS の疫学動向（日本・中四国）	名古屋市立大学准教授 金子 典代
14:00	セクシュアリティ（性的指向）について	四国学院大学 教授・ HaaT えひめ 大山 治彦
14:30	手記リーディング （HIV 陽性者とその周囲の人たちの手記）	ふれいす東京 代表 生島 嗣
15:00	模擬対応 「セクシュアリティに配慮した相談の実際」	ふれいす東京 代表 生島 嗣
16:50	振り返り、まとめ	
17:00	閉会	

4. 申込

HaaT えひめまで E-mail で申込

E-mail haat-ehime@hotmail.co.jp ※締切 平成 25 年 5 月 24 日(金)

5. 問い合わせ HaaT えひめ haat-ehime@hotmail.co.jp

6. 実施主体：厚生労働省エイズ対策研究班（市川誠一）、HaaT えひめ

[資料 3-2 : HIV 検査担当者向け研修会案内 (つづき)]

■HaaT えひめ (ハートエヒメ)

H a a T えひめは 2006 年 9 月にゲイ男性の有志によって発足しました。

日本における H I V / A I D S の発生動向を見ると、新規に報告される H I V 感染者 / A I D S 患者のうち約 70% がゲイ・バイセクシャル男性です。性的少数者 (セクシュアルマイノリティ) であるゲイ / バイセクシャル男性が H I V 感染者 / A I D S 患者の半数以上を占めているということは、この層の性的健康が重大な危機に直面していると言えます。H a a T えひめはこの問題に対して行政、医療機関、研究者、活動団体などと連携を図り効果的で持続可能な予防啓発活動を行います。また予防啓発と同時に H I V 陽性者の方への理解と支援を広げていくことにも取り組んでいます。

<http://www.haat-ehime.com/>

■講師所属団体 HP

- ・名古屋市立大学 (厚生労働省エイズ対策研究班・市川誠一) : <http://www.msm-japan.com/>
- ・ふれいす東京 : <http://www.ptokyo.com/>
- ・四国学院大学 : <http://www.sg-u.ac.jp/view.rbz?cd=815>

■情報

インターネットサイト

- ・ HIV マップ : <http://www.hiv-map.net/>
- ・ Living Together 計画 : <http://www.living-together.net/>
- ・ HIV 検査相談マップ : <http://www.hivkensa.com/>

表1 GCQ アンケート (2012) 「年齢別の基礎属性」

	年齢					合計 n=444	Pearson χ^2
	24歳以下 n=102	25-29歳 n=92	30-34歳 n=73	35-39歳 n=77	40歳以上 n=100		
性的指向							
ゲイ(同性愛者)	70 68.6%	73 79.3%	55 75.3%	60 77.9%	69 69.0%	327 73.6%	0.37
バイ(両性愛者)	21 20.6%	16 17.4%	15 20.5%	13 16.9%	25 25.0%	90 20.3%	
その他	11 10.8%	3 3.3%	3 4.1%	4 5.2%	6 6.0%	27 6.1%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？							
一人暮らし	38 37.3%	38 41.3%	36 49.3%	33 42.9%	36 36.0%	181 40.8%	0.02
家族と同居	63 61.8%	41 44.6%	33 45.2%	37 48.1%	52 52.0%	226 50.9%	
家族以外と同居	1 1.0%	13 14.1%	4 5.5%	7 9.1%	12 12.0%	37 8.3%	
あなたは現在、結婚していますか？							
結婚している	0 0.0%	3 3.3%	4 5.5%	3 3.9%	23 23.0%	33 7.4%	<0.01
結婚していない	102 100.0%	89 96.7%	69 94.5%	74 96.1%	77 77.0%	411 92.6%	
あなたは現在、健康保険を持っていますか？							
国民健康保険	41 40.2%	25 27.2%	18 24.7%	25 32.5%	32 32.0%	141 31.8%	<0.01
職場の健康保険	25 24.5%	55 59.8%	53 72.6%	51 66.2%	65 65.0%	249 56.1%	
被扶養者の健康保険	28 27.5%	7 7.6%	2 2.7%	0 0.0%	1 1.0%	38 8.6%	
持っていない	8 7.8%	5 5.4%	0 0.0%	1 1.3%	2 2.0%	16 3.6%	
次の中で過去6カ月間に利用したものはありますか？ (あてはまるものすべて)							
ゲイバー	56 54.9%	67 72.8%	54 74.0%	54 70.1%	55 55.0%	286 64.4%	0.01
ゲイナイト	25 24.5%	29 31.5%	25 34.2%	31 40.3%	17 17.0%	127 28.6%	0.01
ゲイショップ	10 9.8%	4 4.3%	12 16.4%	20 26.0%	12 12.0%	58 13.1%	<0.01
PC出会い系サイト	28 27.5%	19 20.7%	16 21.9%	24 31.2%	30 30.0%	117 26.4%	0.41
携帯出会い系サイト	34 33.3%	39 42.4%	29 39.7%	38 49.4%	44 44.0%	184 41.4%	0.27
mixiなどのSNS	58 56.9%	44 47.8%	32 43.8%	49 63.6%	30 30.0%	213 48.0%	<0.01
エロ系SNS	25 24.5%	16 17.4%	17 23.3%	23 29.9%	24 24.0%	105 23.6%	0.45
スマートフォンのゲイ向けアプリ	51 50.0%	48 52.2%	47 64.4%	48 62.3%	36 36.0%	230 51.8%	<0.01
ゲイ向けサークル	8 7.8%	5 5.4%	6 8.2%	8 10.4%	6 6.0%	33 7.4%	0.75
ゲイ向け合コン	1 1.0%	1 1.1%	0 0.0%	4 5.2%	0 0.0%	6 1.4%	0.03
ゲイの乱パ	0 0.0%	1 1.1%	1 1.4%	2 2.6%	1 1.0%	5 1.1%	0.61
有料のハッテン場	13 12.7%	15 16.3%	13 17.8%	22 28.6%	19 19.0%	82 18.5%	0.10
野外のハッテン場	7 6.9%	6 6.5%	8 11.0%	9 11.7%	13 13.0%	43 9.7%	0.44
ハッテン場で有名な公共施設	14 13.7%	9 9.8%	7 9.6%	20 26.0%	23 23.0%	73 16.4%	0.01
いずれも利用なし	7 6.9%	2 2.2%	4 5.5%	1 1.3%	7 7.0%	21 4.7%	0.23

表2 GCQ アンケート (2012) 「年齢別の検査行動、HIVの身近さ、性感染症罹患」

	年齢					合計 n=444	Pearson χ^2
	24歳以下 n=102	25-29歳 n=92	30-34歳 n=73	35-39歳 n=77	40歳以上 n=100		
これまでにHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？							
ある	54 52.9%	74 80.4%	58 79.5%	60 77.9%	76 76.0%	322 72.5%	<0.01
ない	48 47.1%	18 19.6%	15 20.5%	17 22.1%	24 24.0%	122 27.5%	
これまでにHIV抗体検査を受けたことはありますか？							
ある	27 26.5%	49 53.3%	44 60.3%	46 59.7%	57 57.0%	223 50.2%	<0.01
ない	75 73.5%	43 46.7%	29 39.7%	31 40.3%	43 43.0%	221 49.8%	
過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？							
ある	13 12.7%	25 27.2%	22 30.1%	21 27.3%	24 24.0%	105 23.6%	<0.01
ない	12 11.8%	21 22.8%	20 27.4%	21 27.3%	31 31.0%	105 23.6%	
1年以上前に陽性を確認	2 2.0%	3 3.3%	2 2.7%	4 5.2%	2 2.0%	13 2.9%	
生涯なし	75 73.5%	43 46.7%	29 39.7%	31 40.3%	43 43.0%	221 49.8%	
過去1年間にHIV抗体検査を受けた場所はどこですか？ (あてはまるものすべて)							
保健所の通常検査	6 5.9%	10 10.9%	8 11.0%	7 9.1%	9 9.0%	40 9.0%	0.75
保健所の即日検査	7 6.9%	12 13.0%	10 13.7%	7 9.1%	4 4.0%	40 9.0%	0.12
保健所の夜間検査	2 2.0%	1 1.1%	2 2.7%	1 1.3%	1 1.0%	7 1.6%	0.89
医療センターなどの病院	0 0.0%	2 2.2%	2 2.7%	3 3.9%	4 4.0%	11 2.5%	0.37
クリニック・医院・診療所	0 0.0%	4 4.3%	2 2.7%	6 7.8%	4 4.0%	16 3.6%	0.09
郵送検査キット	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	2 2.0%	3 0.7%	0.29
その他	0 0.0%	1 1.1%	1 1.4%	0 0.0%	3 3.0%	5 1.1%	0.26
あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？							
いる	10 9.8%	21 22.8%	21 28.8%	27 35.1%	23 23.0%	102 23.0%	<0.01
いると思う	13 12.7%	22 23.9%	12 16.4%	17 22.1%	16 16.0%	80 18.0%	
いないと思う	36 35.3%	20 21.7%	14 19.2%	19 24.7%	32 32.0%	121 27.3%	
いない	9 8.8%	3 3.3%	3 4.1%	5 6.5%	3 3.0%	23 5.2%	
わからない	34 33.3%	26 28.3%	23 31.5%	9 11.7%	26 26.0%	118 26.6%	
過去6か月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	23 22.5%	29 31.5%	21 28.8%	17 22.1%	26 26.0%	116 26.1%	0.07
ない	32 31.4%	36 39.1%	28 38.4%	36 46.8%	49 49.0%	181 40.8%	
彼氏・恋人がいなかった	47 46.1%	27 29.3%	24 32.9%	24 31.2%	25 25.0%	147 33.1%	
過去6か月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	41 40.2%	45 48.9%	42 57.5%	40 51.9%	38 38.0%	206 46.4%	0.06
ない	61 59.8%	47 51.1%	31 42.5%	37 48.1%	62 62.0%	238 53.6%	
次の中で、これまでにかかったことがある性感染症はありますか？ (あてはまるものすべて)							
梅毒	1 1.0%	7 7.6%	2 2.7%	6 7.8%	9 9.0%	25 5.6%	0.07
A型肝炎	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	0.50
B型肝炎	3 2.9%	4 4.3%	2 2.7%	5 6.5%	8 8.0%	22 5.0%	0.40
C型肝炎	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	3 0.7%	0.35
クラミジア	3 2.9%	3 3.3%	4 5.5%	7 9.1%	12 12.0%	29 6.5%	0.05
尖圭コンジローマ	1 1.0%	1 1.1%	3 4.1%	3 3.9%	2 2.0%	10 2.3%	0.49
淋病	2 2.0%	1 1.1%	2 2.7%	5 6.5%	10 10.0%	20 4.5%	0.02
HIV感染症	3 2.9%	3 3.3%	4 5.5%	5 6.5%	5 5.0%	20 4.5%	0.77
赤痢アメーバ	1 1.0%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.6%	5 5.0%	9 2.0%	0.13
毛じらみ	6 5.9%	24 26.1%	19 26.0%	23 29.9%	26 26.0%	98 22.1%	<0.01
性器ヘルペス	3 2.9%	1 1.1%	2 2.7%	1 1.3%	3 3.0%	10 2.3%	0.84
その他	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.3%	2 2.0%	4 0.9%	0.54
いずれもなし	92 90.2%	58 63.0%	44 60.3%	45 58.4%	54 54.0%	293 66.0%	<0.01